

「病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究」

1. 研究の対象

日本全域で発生し、救急隊が蘇生処置を実施し、登録医療施設に搬送された院外心停止症例。*院外心肺停止とは、全心肺停止症例のうち、病院内発生的心肺停止症例を除いたものとし、診療所内で発生した心肺停止症例を含む。

2. 研究目的・方法

「目的」本研究では、院外心停止例の搬送先病院の治療体制、搬送後の集中治療内容を包括したコホートを確立します。院外心停止例に対する病院到着後の治療体制・治療内容の実態把握、院外心停止例の搬送先選定基準の検討・予後予測因子の検討、院外心停止からの社会復帰率向上に寄与する治療体制・集中治療の検討、を行うことで、院外心停止例の社会復帰率向上に寄与する適切な搬送先選定基準および治療ストラテジを検討することを目的としています。

「方法」病院到着後記録は、登録施設に搬送された院外心停止症例の診療記録を、その施設の分担研究者もしくは担当医が日本救急医学会 院外心停止例救命のための効果的救急医療体制・治療ストラテジの構築に関する学会主導研究推進特別委員会に提出する。そのデータを京都大学内の研究事務局に提供してデータベース化する。

「研究期間」

対象者登録期間:承認日(2012年5月28日)から15年間(2027年5月31日)
研究期間は登録後1年間の解析期間を設け、2028年5月31日までとする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 1) 病院前蘇生記録: 目撃状況, 居合わせたものによる心肺蘇生の有無など
- 2) 搬送先治療体制: 病床数, 救命センターか否か, ICU病床数, 院外心停止症例の年間受け入れ数, 各種専門医・看護師の数など
- 3) 病院搬送後記録: 心停止原因, 来院時検査データ, 蘇生処置の詳細, 1ヶ月・90日後生存率, 脳機能良好な状態での1ヶ月生存・90日後生存など

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でを行います。対応表は当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

1)研究責任者

京都大学 環境安全保健機構 健康科学センター 教授 石見 拓

2)分担研究者

近畿大学医学部附属病院 救命救急センター 植嶋 利文

大阪府立泉州救命救急センター 井上 稔也
大阪警察病院 救命救急科 山田 智輝
大阪府立中河内救命救急センター 岸本 正文
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 入澤 太郎
国立病院機構大阪医療センター 救命救急センター 曾我部 拓
大阪府三島救命センター 八木 良樹
大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター 林 靖之
大阪急性期・総合医療センター 救急診療科 木口 雄之
大阪市立総合医療センター救命救急センター 師岡 誉也
大阪赤十字病院救命救急センター 坂本 晴子
社会医療法人きつこう会多根総合病院 救急科 野口 和男
大阪市立大学医学部 救急生体管理医学科 西村 哲郎
大阪市立総合医療センター救命救急センター 古家 信介
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 片山 祐介
国立病院機構大阪医療センター 救命救急センター 梶野 健太郎
岸和田徳洲会病院 鈴木 慧太郎
京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 クリティカルケア看護学分野 西山 知佳

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56
大阪急性期・総合医療センター救急診療科
研究責任者：副部長 木口 雄之
電話 06-6692-1201 内線 7451

研究代表者：京都大学 環境安全保健機構 健康科学センター 教授 石見 拓